

(1) 大乘寺だより 第112号

平成24年7月10日



大乘寺を守る会・会報  
 発行所 (〒921-8114)  
 金沢市長坂町ル-10  
 大乘寺  
 TEL. 076-241-2680  
 ホームページ  
<http://www.daijōji.or.jp/>  
 Eメール  
[zazen@daijōji.or.jp](mailto:zazen@daijōji.or.jp)  
 郵便振替口座 金沢  
 00770-4-133

## 第四回 「眼蔵会」

六月九日(土)、十日(日)、第四回「眼蔵会」

が開催された。山主老師の提唱。講本は「仏道」の巻。大乘寺秘蔵のいわゆる卍山まんざん本が講本である。市民僧俗をまじえておよそ四〇余名。道元禪師の説く仏道を学んだ。道元禪師の宗風がようやく、定着しつつある。

なお、十日(日)午後三時より、第五回「道ひとすじの会」。「渡辺玄宗禪師をお徳びして」と題する山主老師のおはなし。

そのあと清興をたのしんだ。



大乘寺だより 第112号

平成24年7月10日 (2)

# 白雲去来

## 板橋興宗禪師ご来山

四月二十九日、桂岩寺晋山式で西堂をおつとめになった御誕生寺ご住職・板橋興宗禪師(大乘寺七〇世、大本山總持寺独住第二三世・閉月即心禪師)は、徳島県・城満寺新命田村航也老師を帯同して、大乘寺へ御来山。歓談の後、山内を一巡してお帰りになった。



板橋禪師は、五〇余年のむかし、山主老師と總持寺で修行された間柄。きょうだい弟子の関係でもある。城満寺は、

昭和二八年、山主老師が出家得度された太祖瑩山禪師の初開道場。

## 中谷宇吉郎先生 没後五〇周年を迎えて

四月二〇日、雪の世界的研究家として知られる中谷宇吉郎先生(加賀市ご出身)の没後五〇周年を記念して、山主老師導師による追善供養が祠堂殿で営まれた。

この日、先生の長女咲子様(在米国)、二女英二子様、三女三代子様(在米国)と御親族の寺垣様、藤村様が中谷家の御位牌を通じて諸霊に焼香され、山主老師との四方山話に花が咲いた。



## 山主老師

### 大本山永平寺御先導師

四月二三日から二九日まで大本山永平寺高祖大師報恩授戒会に、山主老師は御先導師の配役で随喜された。二三日のみ。

## 山主老師

### 大本山永平寺御專使

四月二十九日、金沢市・桂岩寺の復興五十年記念法要・晋山(新命・三三世蒲田敬章老師)式に、山主老師は大本山永平寺御專使として随喜。

## 章駄尊天 扁額修補

三月三十一日、玄関まえの章駄尊天をおまつりする頭上の扁額「衆香界」を、匠楽さんに依頼してこのたび修補した。



裏面に、「享保九甲辰歳七月吉祥日 現住大乘智燈玄手書 立之」とある。このた

びの修補はおそらく二八八年ぶりのことといえようか。普度会記念事業の一つである。

## アルド・トツリーニ教授

### 「禪」で、大乘寺を紹介

イタリア共和国大乘寺別院の真如住職から送られてきた「L'ONORE」(ヴェネツィアのカ・フォスカリ大学のアルド教授著)に、臨済宗の鎌倉京都の諸大本山とともに、曹洞宗の永平寺、總持寺とともに大乘寺が紹介されている。



真如寺については「真如寺禅道場、フィレンツェ。金沢の有名な大乘寺の東老師の弟子でアンナ・マリア・伊天真如により創設。大乘寺別院として、日本との密接な関係を保っている。当道場も曹洞宗の教義に従っている。」発行・エイナウデイ(イタリア)新書版五二四頁。フィレンツェ在住・中嶋しのぶ様ご報告。

## 山岸さん、奥村さん 魚田さんの浄行

山岸和子、奥村一栄、魚田道子さんの御三方は、このほど大乘寺山内のそこかしこに鎮座しますおよそ百鉢のお地藏さまに赤い頭巾や前掛けを奉納していただいた。



御三方の浄行は、十数年まえからなされているが、知る人はほとんどいない。ご本人たちも、あからさまにされることをひどく嫌われているが、大乘寺としては、黙っているわけにはいかない。ご本人たちの反対を承知のうえで、あえてここにその御浄行をご紹介する次第である。